

# 大野町公共施設マネジメント白書

## 【概要版】

### 今後を見据えた公共施設のあり方



現在、町が保有する公共施設の多くは、人口増加に伴う公共サービスの増加への対応や豊かさの創出を目指し、高度経済成長期後半からバブル期にかけて整備されてきたものです。その結果、施設の重複や老朽化等に伴う大量の施設更新が今後の問題となって浮かびあがってきています。

また、我が国においては、国の債務残高が 1,000 兆円を超える額にまで達し、地方財政においても少子高齢化の急速な進展に伴う社会保障費の増加など、より厳しさを増すなか、変化する住民ニーズにも的確に対応していく必要があります。

このような中、これまでの手法による公共施設の維持管理、更新は財政上にも大きな負担となり真に必要な他の公共サービスにも影響を与えかねないことが懸念されます。従って、住民、議会、行政等が課題を共有し、公共サービスのあり方を見直し、町における健全な財政を維持し持続可能な公共サービスの提供を進めるためには、公共施設統廃合、再配置等の指針を示さなければなりません。

この白書は、公共施設統廃合、再配置、更新等の指針の検討に必要となる人口、産業、財政等について上位計画である町第六次総合計画基本計画等との整合性を図りながら、当該調査結果に基づき各公共施設の現状と分析・評価の結果を整理することを目的としたものです。

白書は、町の窓口での縦覧等で広く公開し、幅広い議論を経て、戦略性を持った方針と中長期的な改善計画の策定へとつなげて参ります。

平成 27 年 3 月 大野町

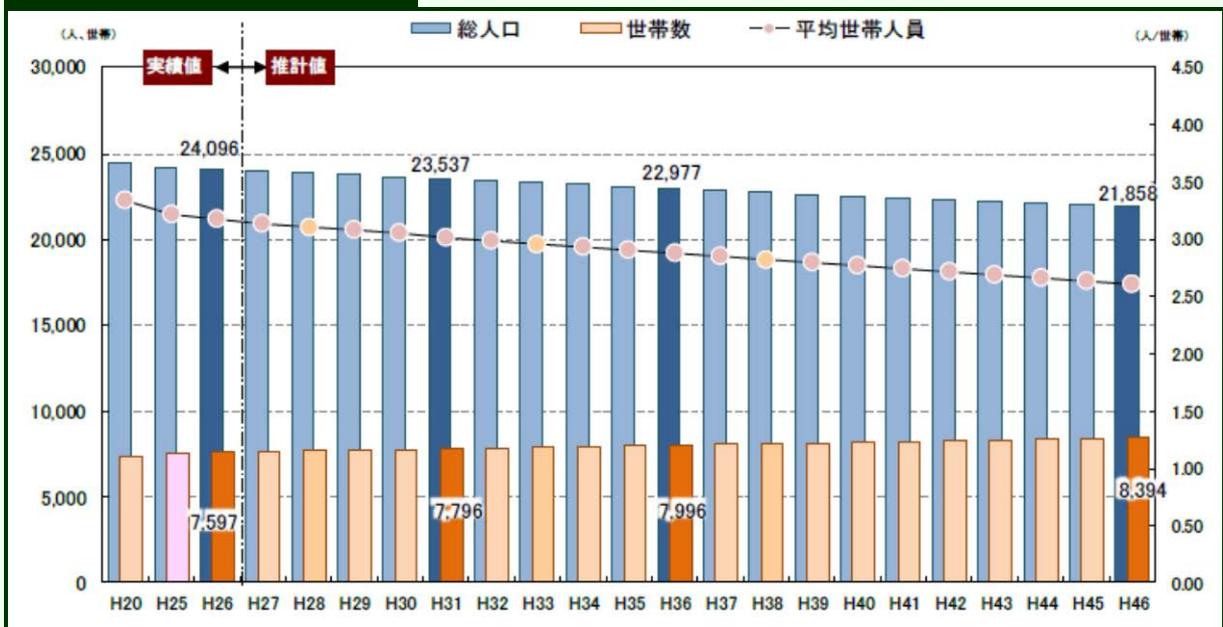
# I 町勢概要

## 1. 人口・世帯

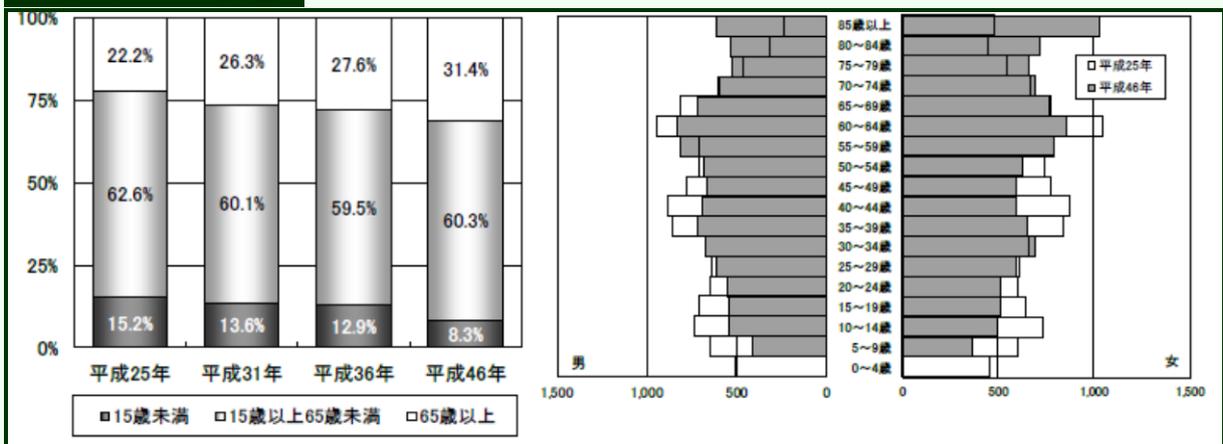
将来人口予測について分析を行った結果、平成19年をピークに人口は減少し続け、平成46年頃には22,000人を割り込む予想となっております。

年齢3区分別で見ると、0歳から14歳（年少人口）、15歳から64歳（生産年齢人口）までの人口が減少していくのに対して、65歳以上（老年人口）の人口は増加するため、町に対する当該人口の割合が上昇していき、平成46年頃には65歳以上の人口が30%を超える見込みとなっております。

### 人口及び世帯数の推移



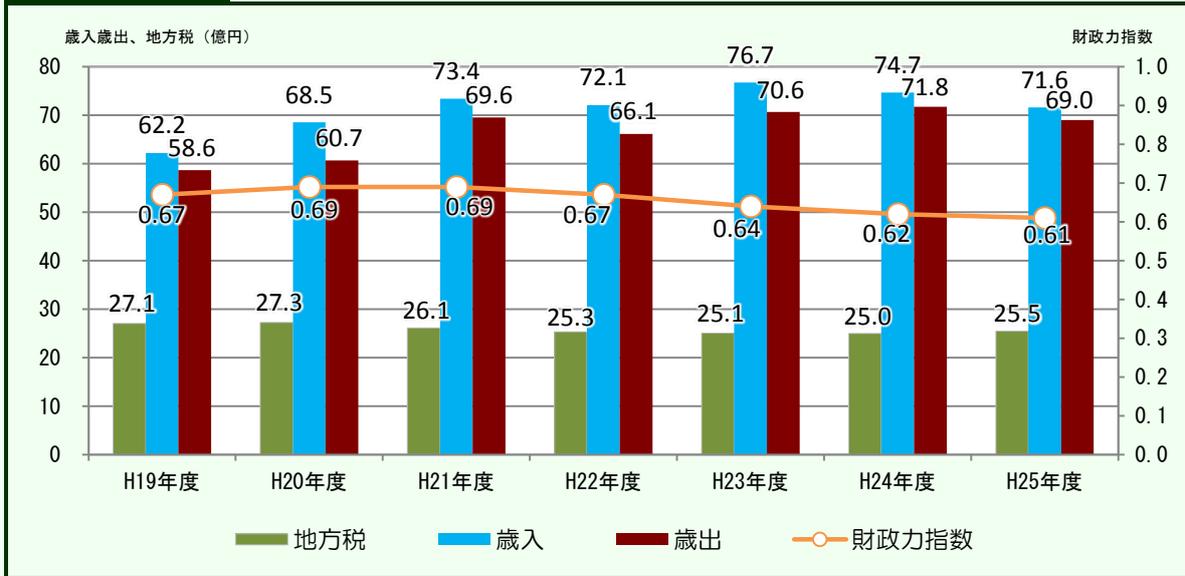
### 年齢別人口割合



## 2. 財政

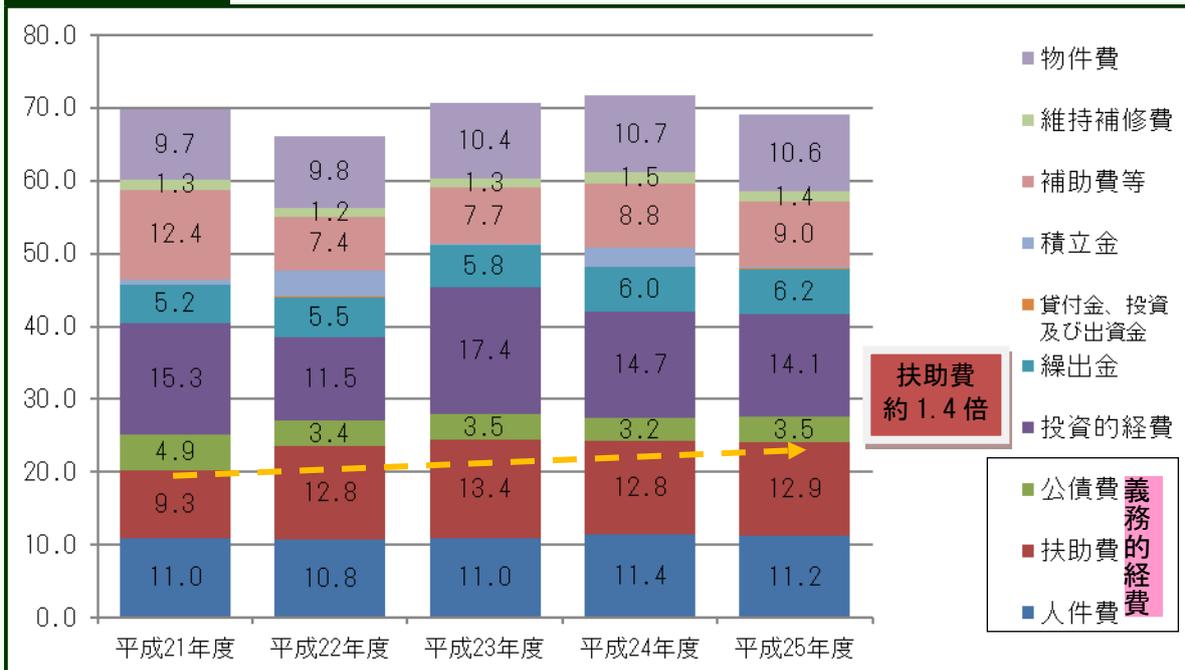
町の平成 25 年度における歳入額は約 72 億円となっており、ここ数年は 70 億円台で推移しています。歳入のうち地方税は、平成 25 年度は 25.5 億円と前年と比べ微増しましたが、平成 20 年度から平成 24 年度にかけて減少傾向が続いております。

### 財政の状況



歳出に関しては、義務的経費のうち人件費、公債費は横ばいですが、社会福祉費等の扶助費は平成 21 年度から平成 25 年度にかけて約 1.4 倍と増加しています。今後も少子高齢化の進展により扶助費の増加に伴う義務的経費の増加が見込まれます。

### 歳出の状況



## Ⅱ 公共施設の現状

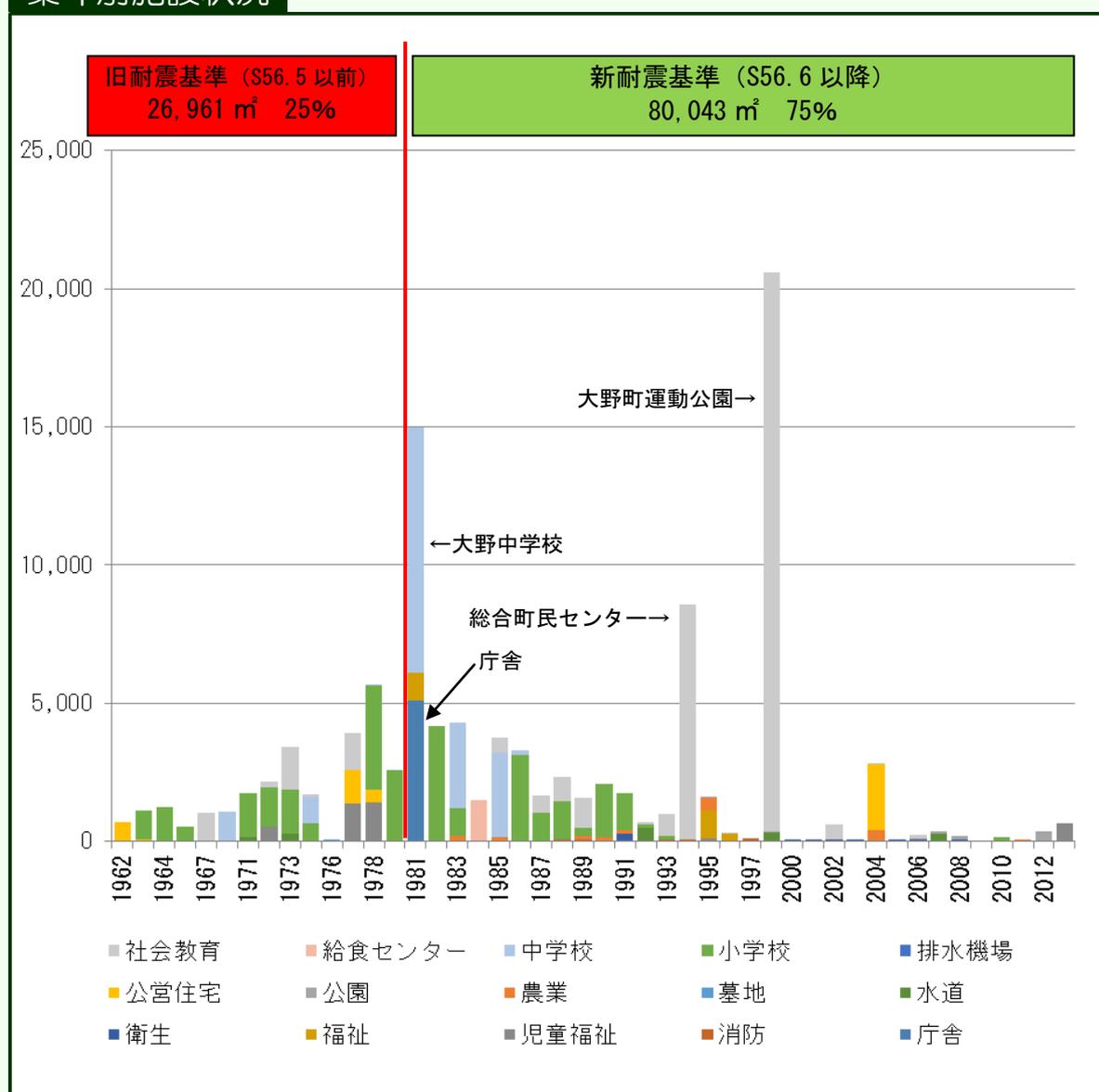
### 1. 築年別の施設状況

町の所有する公共施設は、高度経済成長期後半からバブル期にかけて、公共サービスの増加等に伴い建築されてきました。現状で保有している施設は 89 施設です。

建築基準法施行令改正により新耐震基準が施行された 1981 年（昭和 56 年）6 月 1 日以降に建設された施設が全体の約 75%となっております。

一方、旧耐震基準で施工された施設は約 25%となっております。これらの施設については耐震診断を行っており、日常的に人の出入りがない民俗資料館を除いたすべての施設は耐震補強工事が完了しております。

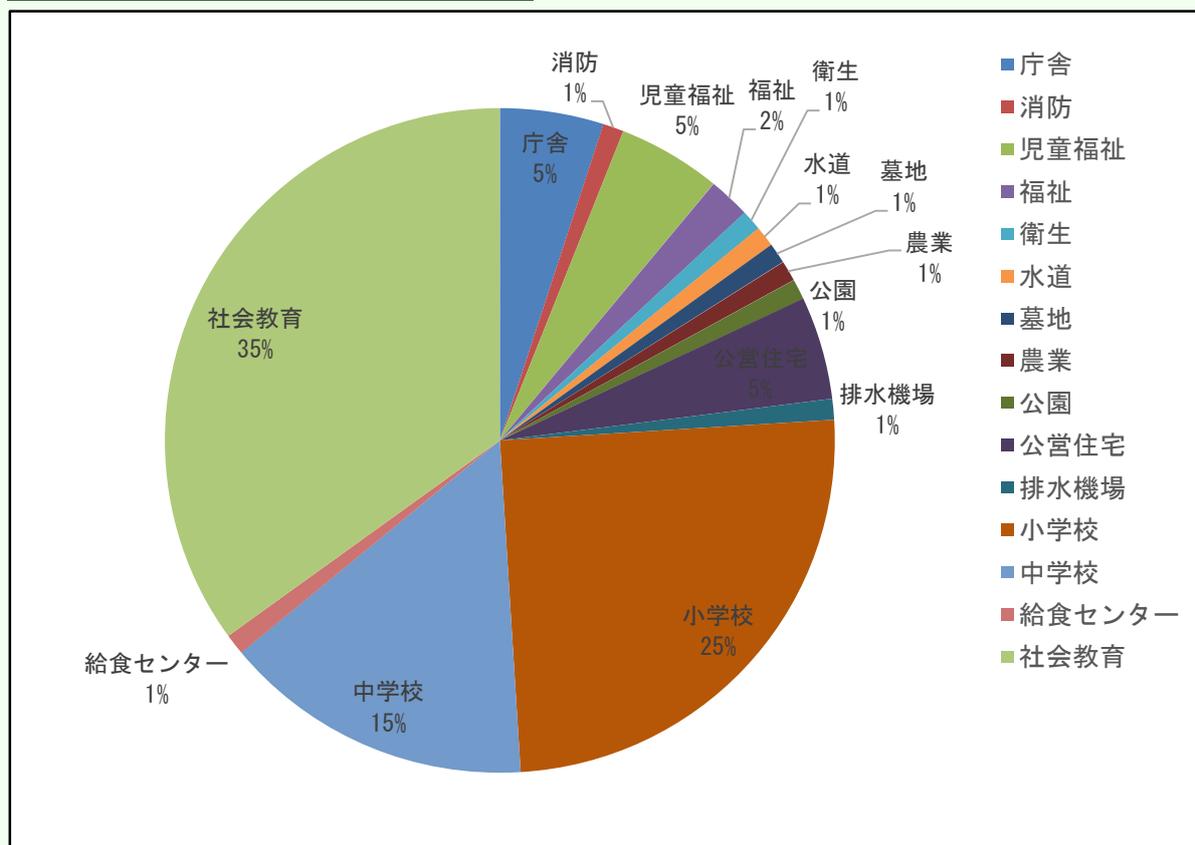
#### 築年別施設状況



## 2. 公共施設の延べ床面積の内訳

公共施設の延べ床面積は、合計で 107,004 m<sup>2</sup>です。小中学校で全体の 40%、公民館等の社会教育施設で全体の 35%を占めています。

### 公共施設の延べ床面積の割合



### 公共施設の延べ床面積の内訳

小分類	延べ床面積 (m <sup>2</sup> )	小分類	延べ床面積 (m <sup>2</sup> )
庁舎施設	5,152	公園	627
消防施設	345	公営住宅	4,847
児童福祉施設	4,168	排水施設	37
福祉施設	2,199	小学校	29,011
衛生施設	997	中学校	17,321
水道施設	1,488	給食センター	1,472
墓地	28	社会教育施設	37,779
農業施設	1,533	面積 (合計)	107,004

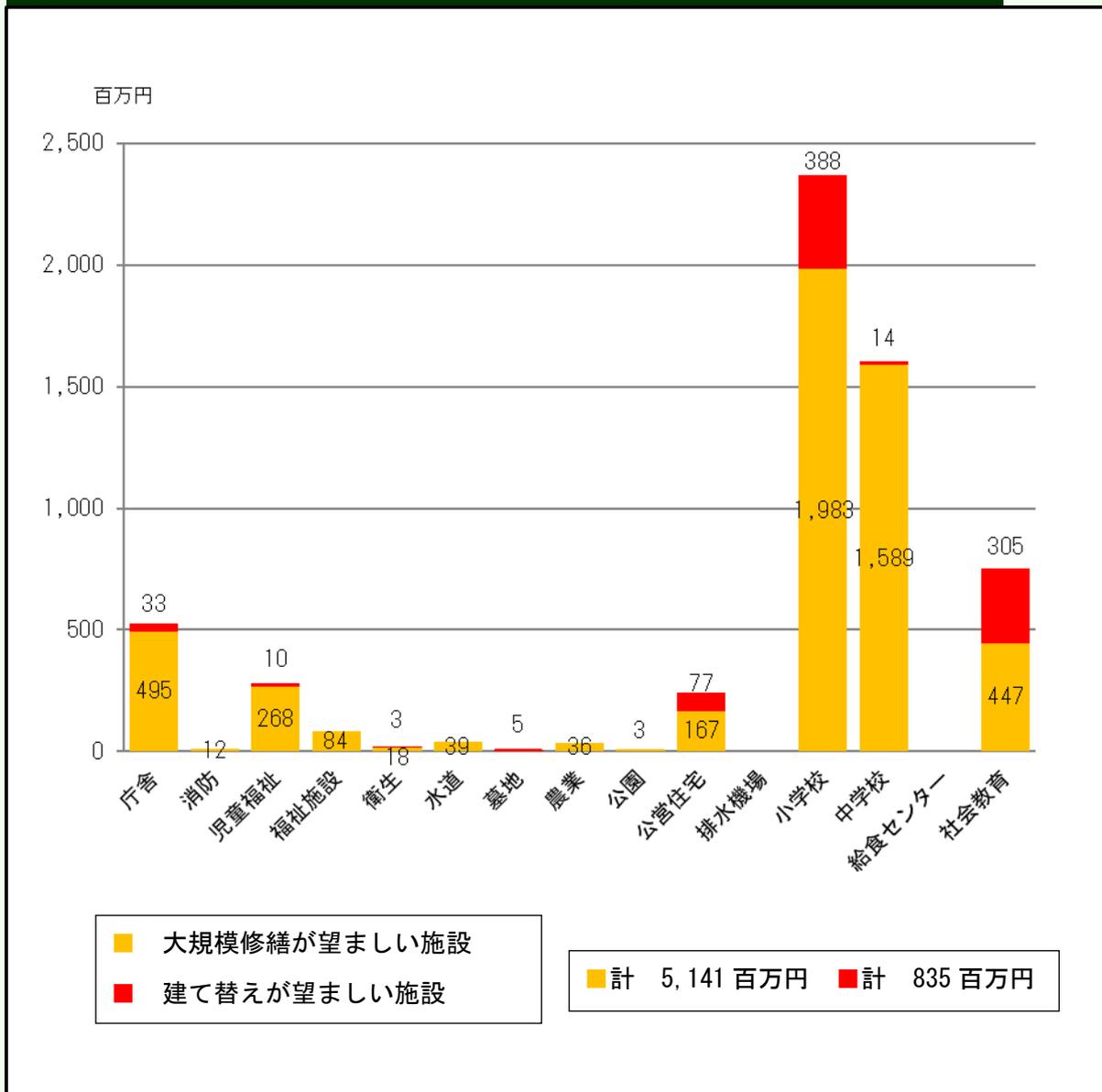
### Ⅲ 将来の更新（大規模修繕・建て替え）整備量

#### 1. 公共施設の更新（大規模修繕・建て替え）の状況

町の所有する公共施設は、建築後 50 年を経過したものもあり、大規模修繕や耐震補強工事等が実施されていても、寿命による建て替えが必要な施設も少なくありません。これまで町においては、建物の長寿命化を図るという観点ではなく、その時点で修繕が必要と判断された改修を行ってきました。

一方で、減価償却資産の耐用年数から見た場合、現時点において、更新（大規模修繕・建て替え）が望ましい施設の推定費用合計は、概ね 60 億円程度となります。

#### 現時点の減価償却資産の耐用年数から見た更新が望ましい施設

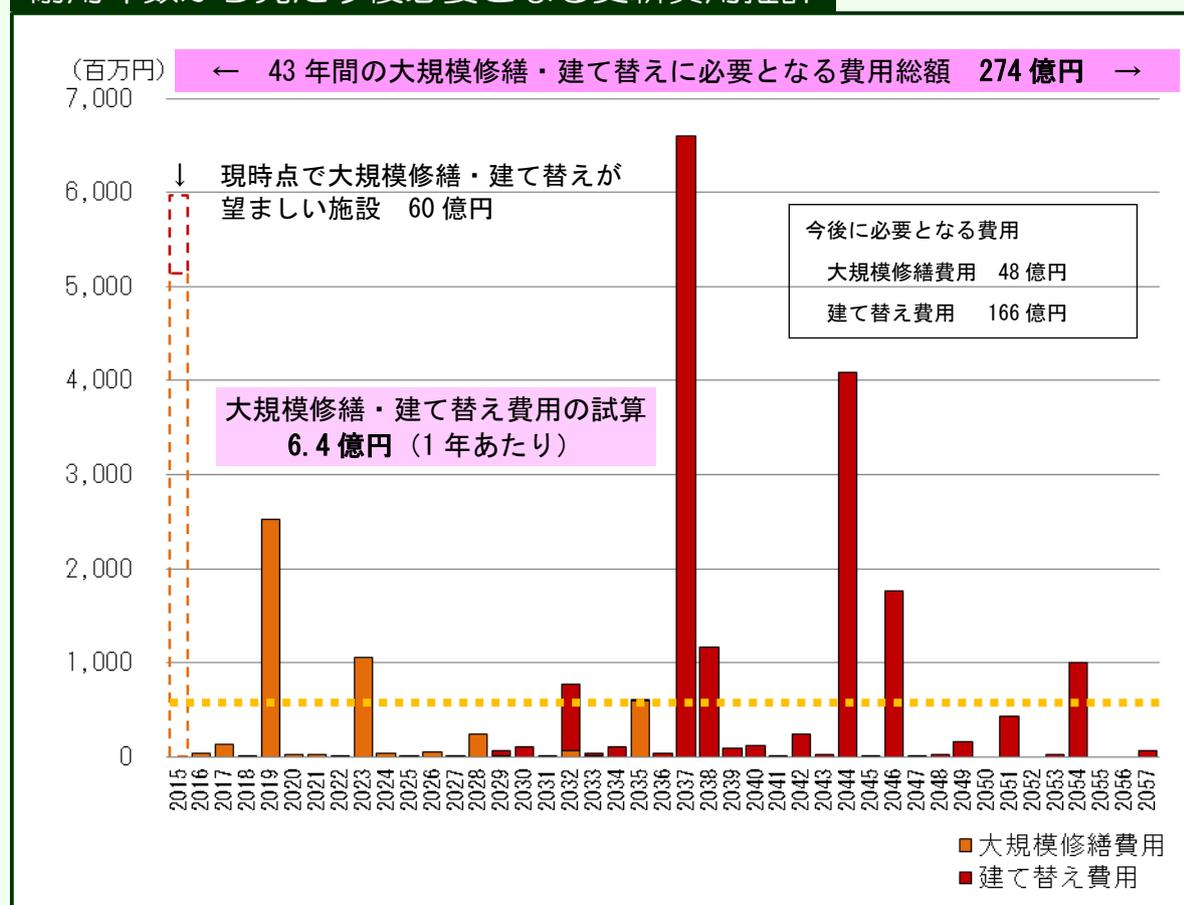


## 2. 今後必要となる更新費用

現時点を含む今後必要となる施設の更新（大規模修繕・建て替え）の費用は、2015年から、最後に建て替えが終わる2057年までの43年間で274億円程度（現時点で更新が望ましい施設：60億円、今後に必要な更新想定費用：約214億円）であり、1年あたりに換算すると6.4億円程度となります。平成26年度の町一般会計が71.2億円であることから更新費用（更新投資額）が9%程度を占めることになります。

今後1年間に必要となる更新費用6.4億円に対して、2019年、2037年、2044年頃には多額の更新費用が必要となる可能性があるため、十分な分析を行い、更新費用の平準化と将来を見越した維持・修繕計画を検討する必要があります。

### 耐用年数から見た今後必要となる更新費用推計



## IV 公共施設を取り巻く現状

これまで町では、公共サービスの増大に伴い公共施設を整備してきましたが、今後これらの多くが一時期に集中して更新の時期を迎えます。かつてのような経済成長が期待できないなか、現在の公共施設のすべてを維持していくことは、財政上にも大きな負担となることから、今回、89施設を分類化し、各施設の実態を施設面・利用面・運営面・コスト面から整理し、さらに、将来における人口動態の予測を行いました。その結果、公共施設を取り巻く現状として「施設の老朽化への対応」、「利用ニーズの変化への対応」、「厳しい財政状況を踏まえた対応」の課題が明らかになってきました。

### 施設の老朽化への対応

- 公共施設の老朽化が進んでおり、一時期に集中して更新時期を迎えるため、計画的な更新（大規模修繕・建て替え）の実施と施設の長寿命化による更新費用の平準化が必要です。
- 利用者が少ない施設や減少傾向にある施設、目的を達成した施設を見直す等、公共施設の総量を長期的な視点で検討していくことが必要です。

### 利用ニーズの変化への対応

- 今後も人口の減少が見込まれ、少子高齢化もさらに進展することが想定されることから、利用ニーズの変化に対応した公共施設サービスの提供が求められます。
- 変化する利用ニーズに対応するためには、見直しによって生じた余剰施設や不足する施設などの有効活用や配置の検討を行うほか、民間施設で補完できるサービスの提供などを踏まえて検討していく必要があります。

### 厳しい財政状況を踏まえた対応

- 町の歳入額はここ数年横ばいの状況であること、また今後の地方交付税等の財源見通しも不透明なことから、未利用・未活用資産の積極的な売却・貸付を通じた財源確保や、利用料金をはじめとした利用者負担について再検討することが必要です。
- 管理運営経費の削減を進めつつこれまでどおりの行政サービスの水準を維持するために、インフラの長寿命化を推進しつつ、民間活力の導入による投資的経費の確保やNPO等との協働による効率的・効果的な運営を進める必要があります。

## V 今後の進め方

ここまで示した課題に対応して、限られた財源を有効に活用し「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」を実現していくためには、公共施設の適正な運営管理のあり方等を精査し、中長期の財政状況を踏まえ、公共サービスを低下させることなく公共施設の維持・管理・運営を図っていく必要があります。

そのため、今後は以下の公共施設マネジメント基本方針を定め、これを基に施設の適正な配置を勘案し、管理・活用を行っていくこととします。

### ◆公共施設マネジメント基本方針

#### ●公共施設運営コストの適正化

社会情勢・町民ニーズを踏まえ、指定管理者制度、業務委託の導入・拡大、民間の資金・手法の活用（PFI）などによりトータルコストの縮減と適正化を図ります。また、受益者負担の観点から、利用料金についても再検討します。

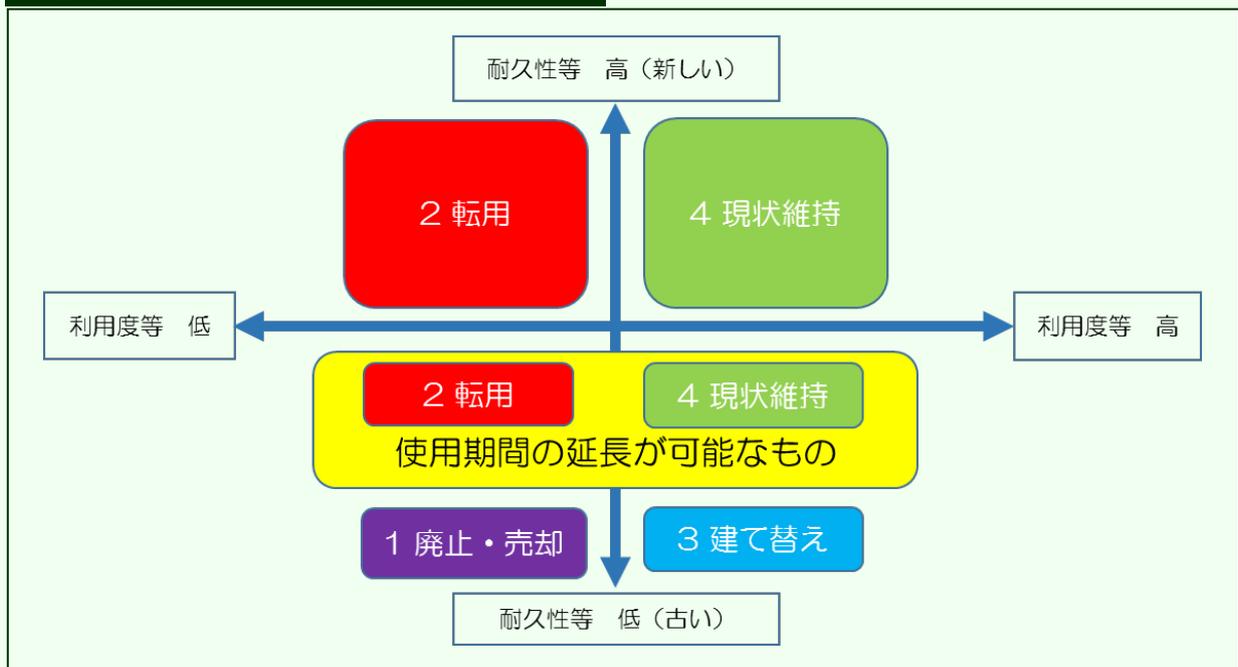
#### ●中長期的視点でのトータルコスト削減

施設の予防的保全を行うことで施設の長寿命化を図り、更新時期を遅らし、長期間利用をすることで全体の費用を抑制するとともに、更新費用の平準化をおこないます。

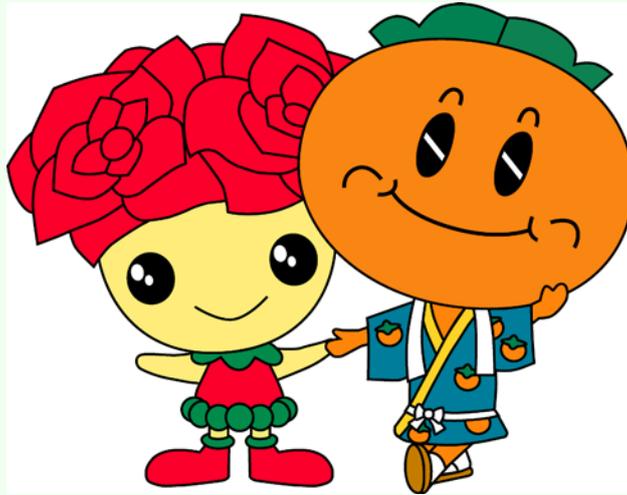
#### ●公共施設の総量の検討

公共施設の総量について、再配置を含めた長期的な視点で検討をします。

### 公共施設マネジメントのイメージ



大野町公式マスコットキャラクター  
パーシーちゃん & ローズちゃん



大野町公共施設マネジメント白書

発行日：平成27年3月 発行

発行：大野町

編集：大野町総務課

〒501-0592 岐阜県揖斐郡大野町大字大野 80 番地

TEL: 0585-34-1111



岐阜県 **大野町**